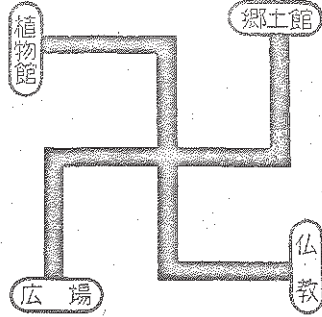


桂核版

横濱支局〒
横濱市中央
弁天通3-0
045(211)24
野崎045(20
045(20
川、伎局〒
川崎市川崎
宮本町7-0
044(244)8511
販売044(283)
広告044(244)
0281
横須賀支局〒
横須賀市日の出
0466(22)0
小田原支局〒
小田原市南町4
0465(22)5032
一通信
浜0468(2
倉0467(2
塚0468(3
木0462(2
原0427(7
和0462(6
津044(34



綾瀬の報恩寺



三百種を超える草花が茂る報恩寺裏の「植物館」と加藤住職

子だすけ観音に全員集合

豪華な客殿庫裏完成機に

子供に憩いの場を

- 昔、おたすけ「いま子だすけ」——高野郡綾瀬町寺尾にある寶刹が、報恩寺(加藤良興・住職)では、自然……
- ……がいっぱいの境内を利用して植物館をへらしたり郷土館を建てたり、子どもたちに広場を設けて楽しませる……
- ……昔への力を入れている。開母は、このほかに、ラックスが寄贈した客殿庫裏が完成。これは、戦後に「町民の手で……
- ……「子だすけ」の観音の御開帳の日には、おたすけの御開帳の日には、おたすけの御開帳の日には……
- ……日曜祭りのかたわら、おたすけの御開帳の日には……

同寺の開山は徳川幕府成立一年前の慶長七年、朝廷存恩大和尚(ちやうがんせんしよ)によって開かれて以来、約三百年もの歴史を持つ由緒ある寺。いまの加藤住職で二十八代目。檀家数五百戸を持つ同町で「一番の寺院」とくちを売ったのが第二次世界大戦の時。「報恩寺にお参りすると敵弾に当たらない」と地元はじめ東京、静岡を関東一帯から父や兄、息子を戦場に送った家族たちがひびききなした祈れ、いつしか「おたすけ観音」と呼ばれて参拝者が後を絶たなかった。その名所々が、いまも続々、戦争にかわって隣近は「交通導線」あわないうまにわたすけ……と交通要金新線の人たちが訪れている。

同寺の堂々わきに、この十二日、檀家からの寄進を約八千万円かけて約五二〇平方分の「客殿」また同寺の正堂境内には、春の七

・研製」が完成した。この施設の完成を機に、加藤住職が考えついたのが「三〇〇」という広大な寺の敷地にある自然環境の活用。考古学や歴史、植物などに興味を持つ加藤住職は、数年前から野草の採取や考古学資料、町の歴史などを調べていたが、この成果を二人でも多くの人たちに見せたり、楽しんでもらえれば——と本格的な準備に入った。

まず、墓山に散歩道を作り、採取してきたり自生している野草をまとめて「植物館」をという計画。すでに「一人しつか」「ふでりんとう」「うづほ草」「花いかた」など珍しい草花約三百種が集まり、それぞれ草や花の名前を記した立札を立て、自然の野草を見る機会が少なく子どもたちが見ても困るようになる。春の七日、また同寺の正堂境内には、春の七

「秋の七草」をそれぞれ一カ所にまとめた「七草コーナー」も設けている。

このほか敷地内には野球やサッカーができる「子ども広場」も設けたほか、三十坪の奥行きがある縄習習やインド式に造られた池、二百五十体のさまさまな石仏など「報恩寺名物」はいっぱい。

また、新築で不用になった古い庫裏を改装して「郷土館」をつくり、ここに町にゆかりのある考古学や歴史資料など加藤住職が興味をもちたものを展示する計画だ。これらが完成すると子どもたちにとりてはスポーツのあとに植物館へさしに歴史の勉強——と絶好の憩いの場になりそう。加藤住職も「寺の歴史や自然が子どもたちに伝わり、訪れた人が仏教に関心を持ってくれば、なお幸い」といっている。